

令和5年度
事業報告書

社会福祉法人スマイルワーク

目次

I 法人関係事業経過

1. 生活介護事業所エール関係	1
2. 各種会議等の開催状況	1
3. 人権擁護・虐待防止対策	2
4. 新型コロナ感染状況	3
5. 創立25周年祝賀会	3
6. 表彰式	4
7. 広報活動	4
8. 寄付関係	4
9. 保護者との連携	4

II スマイルセンターの事業

1. 作業支援	5
2. 個別支援計画について	7
3. 健康・衛生管理	7
4. 事故防止	7
5. 行事	8
6. 職員の資質向上	10
7. 施設実習	12
8. 産業現場等における実習	12
9. ボランティア受け入れ	12
10. 参観見学及び研修等受け入れ	12

III スマイルエール事業経過

1. 総括	13
2. 事業の概要	13
3. 施設サービスの状況	13
4. 利用者の状況	16
5. 主要行事	17
6. 職員の資質向上	18
7. 地域交流	20
8. 参観見学及び利用者等受け入れ	20
9. 実習生受入	21

社会福祉法人スマイルワーク

令和5年度 事業報告

I 法人関係事業経過

1. 生活介護事業所スマイルエール関係

- (1) 開所式 4月3日(月) 8時30分 利用者13人 保護者3人
来賓 保護者会長 佐藤重義さん
- (2) 改良工事
5月10日(水) 現場説明会
5月25日(木) 工事入札 小野中村
6月14日(水) 工事契約 草野建設(小野中村との入札不調により随意契約)
6月20日(火) 工事計画打合せ
7月3日(月) 工事打合せ 花塚工業 草野建設
7月5日(水) 工事打合せ 草野建設
7月12日(水) 工事開始 工事終了予定9月8日
9月8日(金) 改良工事完了
9月13日(水) 竣工検査
- (3) 内覧会
① 理事 9月8日(金) 13時
② 評議員 9月27日(水) 13時
③ 保護者 10月12日(木) 10時

2. 各種会議等の開催状況

(1) 監事会

会議名	開催月日	場所	出席者数	
			監事	理事
監事会	令和5年 5月11日	スマイルセンター 会議室	2	2

(2) 理事会

会議名	開催月日	場所	出席者数	
			理事	監事
第1回理事会	令和5年 5月17日	はまなす館 第1会議室	6	2
第2回理事会	令和5年	はまなす館	6	2

	6月1日	第1会議室		
第3回理事会	令和5年 9月8日	はまなす館第1会議室	6	2
第4回理事会	令和5年 12月6日	はまなす館 ボランティア室	5	1
第5回理事会	令和6年 3月7日	はまなす館 第1会議室	6	1

(3) 評議員会

会議名	開催月日	場所	出席者数		
			評議員	監事	理事
第1回評議員会	令和5年 6月1日	はまなす館 第1会議室	7	2	2
第2回評議員会	令和6年 3月22日	はまなす館 第1会議室	5	2	2

(4) 評議員選任・解任委員会

会議名	開催月日	場所	出席者数	
			委員	理事
第1回評議員選任・解任委員会	令和5年 5月24日	スマイルセンター会議室	4	2

3. 人権擁護・虐待防止対策

- (1) 虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会をほぼ2ヶ月ごとに開催
スマイルBOXの活用状況、チェックリストの集計結果、ヒヤリハット報告状況、支援状況、研修会開催計画等を協議した。結果や改善策等について職員会議で報告した。
- (2) 毎月の職員会議の中で、虐待等の未然防止の観点から利用者への効果的な支援の在り方について情報提供を続けた。
- (3) 職員倫理要綱や職員の行動指針を職員会議で再確認し、職員の規範意識の高揚と支援場面での留意事項等を示し不祥事防止に活用した。
- (4) 人権擁護・虐待防止に関する掲示の継続
利用者本位の支援と自己の行動の振り返りに活かすため、職員が目につきやすい場所に人権擁護、虐待等の防止のための掲示を続けた。
- (5) 虐待防止チェックリストの活用
結果については、虐待防止員会・身体拘束適正化委員会合同による協議の場を設け、内容の分析・改善策について話し合った。

(6) スマイルボックスの活用

毎月、担当者がスマイルボックスの活用についての説明会を継続し、利用者自身の人権や虐待に関する意識の向上を図った。

(7) 権利擁護・虐待防止施設内研修会の実施

①権利擁護・虐待防止研修会

ア 期 日 令和5年7月26日 14時から
イ 外部講師 基幹相談センターふたば 副センター長 四條 拓哉氏
ウ 演 題 障害者虐待の実態と防止について

②伝達講習

○第1回

ア 期 日 令和5年7月20日 17時から
イ 内 容 ハラスメントリスク管理について
ウ 受 講 者 長澤施設長

○第2回

ア 期 日 令和5年11月29日 14時から
イ 内 容 「権利擁護・虐待防止体制の構築」 「苦情受付担当者研修」
「障害者の権利擁護と虐待防止」
ウ 受 講 者 西村晃枝、飯土井真由美、太田 一恵、渡辺直美、吉田雄二

③新採用職員を対象とした研修を実施した。

ア 期 日 令和5年8月2日
イ 内 容 権利擁護・虐待防止に関する規程及び防止マニュアル、職員
行動指針等の説明
ウ 受 講 者 中村 蓮

4. 新型コロナ感染状況

(1) 7月 スマイルセンター利用者1名 陽性者となる。

(2) 8月 スマイルセンター職員5名 陽性となる。

措置

・休業措置を行う。

8月14日～15日まで

・事業所の消毒

(3) 8月 スマイルセンター職員1名感染

通常の営業を行う。

(4) 1月 スマイルエール利用者1名、スマイルセンター利用者1名感染

5. 創立25周年祝賀会

・10月29日(日)にNリゾート福島 ゲストハウスフェリーチで開催

・参加者 80名

・来賓 相馬市長、保護者会長

・安良美佐子様による「やすき節どじょうすくい舞」、利用者からのお祝いの言葉

6. 表彰式

- (1) 日 時 12月14日(木)
(2) 場 所 はまなす館第1会議室
(3) 内 容
表彰状 有限会社 齋藤商店 代表取締役 齋藤實 様 (廃品回収協力)
佐藤星人 様 (ボランティアによる貢献)
感謝状 スマイルワーク保護者会 会長 佐藤重義 様 (金員寄付)

7. 広報活動

- (1) 機関紙スマイル発行 7月 1月
(2) ミニ広報紙 11月
(3) 相馬市社協祭り・新地町産業まつりでのポスターによる事業所紹介

8. 寄付関係

- (1) 保護者会様から生活介護事業所スマイルエール改良工事費用として500万円
(2) 国際ソロプチミストアメリカ 日本北リジョン SI-相馬 様から3万円
(3) 特定非営利活動 法人 オペレーション・ブレッシング・ジャパン 様からレトルト食品、米
(4) 認定NPO 法人 難民を救う会様から自主防災拠点施設設備一式
発電機 (LP ガス) ポータブル電源 (ソーラーパネル) LED 電球 (12本)
設備 (専用ブレーカー、コンセント)
(5) 三井不動産商業マネジメント株式会社様から資源回収用軽トラック購入費の寄付

9. 保護者との連帯

月 日	内 容 等
4月11日(木)	第1回保護者会役員会 保護者7名 職員4名
4月23日(日)	総会 保護者20 職員9名
5月29日(月)	第2回保護者会役員会 保護者5名 職員4名
6月15日(木)	第3回保護者会役員会 保護者7名 職員4名
7月25日(火)	第4回保護者会役員会 保護者7名 職員4名
9月14日(木)	美化作業 保護者16名 全職員
10月12日(木)	第5回保護者会役員会 保護者7名 職員3名
11月14日(火)	保護者役員との懇談会 保護者7名 職員4名
12月 7日(木)	第6回保護者会役員会 保護者7名 職員4名
1月24日(水)	第7回保護者会役員会 保護者7名 職員4名
3月 3日(日)	解散式 晴風荘 歴代会長2名 保護者18名 職員14名

II スマイルセンター事業経過

1. 作業支援

(1) 利用者の状況

- ① 生活介護事業所が開所に伴い、旧フレンズから移動した利用者も4月当初初めての作業に戸惑いを感じている様子が見られたが、希望に添えるように話し合いを継続することで落ち着いて生活ができるようになってきている。
- ② 後期個別支援計画の短期目標の達成に向けて、作業へのかかわりを観察しながら、支援の方法を工夫・改善するよう努めた。これまで、経験が無い作業にも挑戦してもらう機会を設けることで、できる喜び味わったり作業意欲の向上に繋がったりした利用者も増えてきた。

(2) 業務種類及び内容

- ① 生活介護事業所の改良工事に伴い、それまで作業場所としていた海苔のし及びエアーキャップカットを継続することが不可能となり両作業を中止した。
- ② 7月から修復作業が終了した市歴史資料収蔵館の清掃業務を新規作業として職員1名、利用者2名で月4回実施している。
- ③ 2月から浜の駅の清掃作業を受注し、試行的に月2回程度実施した。新年度から回数、人員を確定し本格的に開始する。
- ④ 藍染め関係の販売については、道の駅相馬に販売コーナーの常設に加え、道の駅よりそうマーケットの開催、市役所で就労部会合同販売会、事業所内での販売会を実施した。県振興会、他業所への販売委託等、機会をとらえて積極的に参加し、増収に努めた。
また、新たな製品開発と技術向上のため、県のアドバイザー派遣事業を活用したつまみ細工の研修を2回行った。つまみ細工については、県振興会主催のコンクールにて入賞を果たした。
- ⑤ 臨時作業として、ハローワーク敷地内及び労働局馬場野官舎除草、市商工会議所の街路樹周辺の除草、正月用飾りのヘッダー付け、はまの駅からカレンダー作業を行った。

業務種類	内容
1. 受託・請負作業 (1) 清掃作業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相馬市総合福祉センターはまなす館 ・ 市郷土蔵、歴史資料収蔵館 ・ はまの駅
2. 製造・加工作業 (1) 段ボール作業 (2) シャープペン・ボールペン作業 (3) 臨時作業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 段ボール組み立て等 ・ シャープペンやボールペンの組み立て ・ 正月しめ飾りヘッダーつけ ・ はまの駅カレンダー作業

<p>3. 自主作業</p> <p>(1) 廃品回収</p> <p>(2) 藍染</p> <p>(3) コロタン栽培</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 段ボール、空き缶等の回収、仕分け ・ 藍染（ショール、バンダナ等） ・ 小物の制作（ペンケース、コースター等） ・ 販売 ・ コロタン栽培 ・ 販売
<p>4. 企業内作業</p> <p>福島ニチアスの作業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ピンゲージリングの点検 ・ エアブロー ・ 段ボール組み立て
<p>5. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 臨時除草作業 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハローワーク敷地内 ・ 労働局馬場野官舎 ・ 市商工会議所の街路樹周辺

(3) 企業ごと事業収入状況

昨年度と比べ、作業全体の収益は増収となっている。（前年度比 111.1%）
 受託・請負作業の伸びは、歴史資料収蔵館、はまの駅、ハローワーク等の清掃業務が新たに加わったことが要因となっている。製造・加工については、海苔のし、エアークャップカット作業の撤退に加え、ダンボール等の受注量の低迷により減収となっている。自主作業では、藍染は伸びたが資源物回収昨年を下回った。企業内作業については、1週間通して従事していることが増収につながった。

区 分	前年度比 (%)
1. 受託・請負作業	124.1
2. 製造・加工作業	78.7
3. 自主作業	97.1
4. 企業内作業	117.5

(4) 工賃向上について

- ① 本年度の工賃向上計画作成を県に提出すると共に、保護者に対しては、工賃支給方針、工賃目標を提示した。
- ② 9月から目標工賃達成指導員による工賃向上の取組を開始した。
 - 目標工賃達成支援会議の開催
 - 受託作業や企業内作業、製造・加工等の新規作業の獲得に向けた企業訪問
 - 現在行っている作業について、企業との単価アップの交渉

○ 生産性を高めるための現在の作業実態の把握と対策の検討等

2. 個別支援計画の策定について

効果的な作業支援や自立的な生活態度・習慣を育成するため、前期、後期ごと個別支援計画を作成し支援を行った。

(1) モニタリングの実施

目標の達成状況の評価、目標に対する充足度、達成されない場合の原因の分析を行い、今後の支援内容を検討した。また、本人へ今までの支援経過について説明をするとともに、今後の希望や目標について面談した。

(2) 個別面談の実施 8月、2月

本人と家族が同席のうえ、支援目標・内容及び経過・目標の達成度を説明し本人、家族から要望などを聞き取った。

(3) サービス検討会議 9月、3月

- ・本人同席のうえ、サービス管理責任者、担当で実施
- ・モニタリング及び個別面談の結果を踏まえ、個人の目標、支援内容・方法等について協議した。

3. 健康・衛生管理について

(1) 「持ち込まない、広げない」を新型コロナウイルス感染症予防対策の基本方針を維持し対策を進めてきた。

- ① 法的な位置づけの5類変更に伴い朝の検温表提出を廃止した。
- ② トイレやドアノブ、食堂のテーブル等の消毒、作業室・食堂等における三密の防止、手洗い・うがいの支援、食堂のテーブル等の消毒等を継続した。
- ③ 5類変更後の感染防止対策について、保護者に通知を出し周知を図った。

(2) 健康診断の実施

5月9日(月)から5月25日(木)にかけて早川医院において健康診断を実施し、自己の健康管理についての支援を行った。

(3) 新型コロナワクチン集団接種

第6回目接種 6月9日

第7回目接種 11月2日

(4) インフルエンザ予防接種 11月15日

(5) 職員の生活習慣病検診の実施

10月16日(月)から11月30日(木)にかけて公立相馬総合病院で実施。

4. 事故防止について

毎月、施設全体の設備等の安全点検及び防災教室、定期的防災・避難訓練を行

い、利用者の安全確保に務めた。

(1) 地震及び火災を想定した避難訓練、

○6月 22日(木)

(2) 水害訓練

○9月 7日(木) はまなす館への避難訓練

(3) 毎月の防災教室

安全への意識向上を図り人間関係の円滑化や危険回避行動に関して実施した。。

○実施内容

月	内 容	担当
4	施設での過ごし方 ・作業するときの約束 項、衛生・健康管理項 等	西村
5	人とのかかわり ・おもいやり ・感謝	吉田恵
7	社会のルール ・違法行為とルールを守る ・働くことの大切さ ・相馬市の伝統文化	太田
8	感染症対策 ・水分補給の重要性 ・外出時の注意等	西村
10	命の大切さ ・いただきます、ありがとうの意味	太田
1	インフルエンザ、コロナ対策について ・感染症の予防するために注意すること ・寒さ対策	吉田恵
3	今年度を振り返って ・作業及び生活全般	中村蓮

5. 行 事

(1) 社会体験活動

① 実施日

令和5年7月8日(土) 午前8時00分～午後15時40分

② 参加人数 総数 47名

・利用者

スマイルセンター 25名

欠席不参加者等 3名

スマイルエール 11名
欠席不参加者等 5名

・職員 11名

③ 訪問施設

- 仙台天文台 プラネタリウム
- 錦ヶ丘ヒルサイドモール(伊達の牛タン本舗) 昼食
- 秋保ヴィレッジ 買い物体験

④ 利用者のアンケートに見られる社会体験の感想

- プラネタリウムはどうでしたか。
 - ・スマイル：楽しかった。 25名
 - ・スマイルエール 楽しかった。11名
- 昼食はどうでしたか。
 - ・スマイル：おいしかった。 24名
 - おいしくなかった。 1名(牛タンが固かった)
 - ・スマイルエール：おいしかった。11名
- 買い物はどうでしたか。
 - ・スマイル：楽しかった。 25名
 - ・スマイルエール：楽しかった。 11名
- 次の社会体験は、どこに行きたいですか。
 - ・スマイル：北海道、山形(天童)、定義山、長島スパランド、ラーメン屋(仙台) わんこそば、水族館、東京ディズニーランド、ベニーランド、作並温泉の近くの公園、大洗水族館、焼き肉屋、仙台の市場、お菓子工場の見学、那須動物王国、動物園
 - ・スマイルエール：東京ディズニーランド、山
- その他
 - ・スマイル：雨が降らない季節に行きたい。
お小遣い5,000円以上ほしい。
お金足りない。
 - ・スマイルエール：とても楽しかったです。

⑤ 反省等

- スマイルは更に充実した体験を。スマイルエールは無理のない範囲での満足感を。機能の違う事業所の外出行事を一緒にするとどこかに無理が出る気がします。その代わりに、日程をずらしてそれぞれの行事の際には、お互い職員の助けを入れる。
- 天文台、昼食、お土産と3ヶ所でバスの乗り降りが大変であった。昼食の場所でお土産にするなど2ヶ所にしぼると良いかと思った。
- もう少し各場所で時間の余裕があるとよかった。
- 移動箇所を2ヶ所でも良かったのではないかと感じた。移動する時間にゆとりがなかった。
- 久しぶりの社会体験だったが、雨天だったため、バスの乗り降りが大変だった。

(2) クリスマス会

- ① 期日 12月13日(水)
- ② 会場 音やホール

- ③ 参加者 利用者42名欠席者なし
- ④ 内容 会食 カラオケ
- ⑤ 保護者会の協力 プレゼント、ケーキの提供
- ⑥ 反省等

4年ぶりの開催で利用者の方々も満足できた内容となった。
利用者からは、「久しぶりに外の会場でできたのはよかった。」「カラオケが楽しかった。」「食事がおいしかった。」「ドリンクが飲み放題で満足した。」などの感想があった。

職員からは、「藍染めをプレゼントにしたため、製品作りに時間がかかったが、協力してできた。」「これまで保護者会からプレゼントやケーキなどの支援があったが、次年度からはなくなるので対応について検討する必要がある。」などの意見があった。

(3) スマイル会

誕生月のお祝いをとおして、利用者同士の親交を深め合い、互いに思いやり敬う心をもち喜びを感じてもらおうと毎月実施した。

内容は、誕生月の利用者のポスター形式の顔写真の作成掲示とを帰りの会で行事担当職員から紹介した。

6. 職員の資質向上

新型コロナウイルス感染症は依然として収束していないが、各種研修会や会議がインターネット配信も含め開催されるものもある。可能な限り参加し職員の資質向上を図るよう努めた。

(1) 出張研修等

開催月日	会議名	場所	参加者
4月12日	市自立支援協議会 就労支援部会	はまなす館	施設長
5月10日	市自立支援協議会 就労支援部会	はまなす館	西村
5月15日	実習指導者会議（相馬看護 学校）	ZOOMによる	西村
6月16日	市自立支援協議会 就労支援部会	はまなす館	西村
7月12日	市自立支援協議会 就労支援部会	はまなす館	西村
7月13日	ハラスメントリスク管理	ZOOMによる	施設長

7月25日	福祉サービス事業所説明会	相馬支援学校	吉田雄
8月9日	市自立支援協議会 就労支援部会	はまなす館	西村
9月13日	市自立支援協議会 就労支援部会	はまなす館	西村
9月13日	社会福祉施設看護等職員研修 感染症予防策・対応	ZOOMによる	太田
9月20日	社会福祉施設職員研修 権 利擁護虐待防止体制の構築	ZOOMによる	西村・飯土井
9月22日	経営意識向上研修会	県農業研修セン ター	中村
10月19日	障がい者の権利擁護と虐待 防止	かしま交流セン ター	吉田・渡辺
10月25日	社会福祉施設ボランティア 担当者研修	ZOOMによる	吉田雄二
10月30日	社会福祉法人経営者協議会 青年部セミナー 地域生活課題に向けたソー シャルワーク研修	ビックパレット 福島	中村
11月8日	市自立支援協議会 就労支援部会	はまなす館	長澤施設長
11月16日	ハラスメント防止講習会	ZOOMによる	太田
11月30日	障がい者虐待防止研修会	県農業総合セン ター	吉田雄二
12月15日	苦情解決責任者・第三者委 員研修	ユラックス熱海	荒川施設長
1月12日	成年後見制度に関する研修 会	はまなす館	長澤施設長
2月7日	精神障がい者地域移行圏域 ネットワーク強化研修会	県環境放射線セ ンター大会議室	長澤施設長

2月9日	地域包括ケア検討部会	はまなす館	吉田恵里子
2月16日	障害者権利条約に関する建設的対話と我が国に対する総括所見	スパリゾートハワイアンズ	吉田雄二
3月12日	福祉支援に役立つ法律の知識	ZOOM	長澤施設長
3月13日	業者による高齢者・障害者に対する虐待検証のための第三者委員会ガイドライン	ZOOM	吉田雄二

7. 施設実習

相馬看護学校生徒2名 2日間 7月17日～18日

8. 産業現場等における実習

相馬支援学校3名 (高等部2年) 2週間 6月5日～16日

相馬支援学校4名 (高等部2年) 2週間 11月6日～17日

9. ボランティア受け入れ

作業 45名 (延べ)

生け花 20名 (延べ)

10. 参観見学及び研修等受け入れ等

(1) 参観見学

○32名 (相馬支援学校生徒・職員、他施設職員、実習生保護者等)

(2) 作業体験

○5名

(3) 研修

○相馬市立中村第二中学校教員経験者10年研修 2日間

(社会奉仕体験活動研修)

○相馬市小中学校初任者研修 コロナのため中止

Ⅲ 生活介護事業所スマイルエール

1. 総括

就労継続支援B型事業スマイルセンターの従たる事業所「フレンズ」として平成22年4月に開設、13年間にわたり障がいのある方々の就労支援に取り組む中で利用者の高齢化や重度化、地域における障がいの重い方々への受け皿のニーズの高まりを受け、令和5年4月より生活介護事業所として再スタートを切ったところである。

事業を開始するにあたり特に留意した点として、長期にわたり就労支援事業のサービスを利用してきた利用者の方々に配慮し、生産活動を中心としたプログラムを柱とすること、その上で生活介護事業として求められる様々な活動内容を本人の状態や希望に合わせて組み立てていくこととした。結果的に地域の同様のサービス事業所との差別化も図られた。

2. 事業の概要

- (1) 事業の種類 生活介護
- (2) 指定年月日 令和5年4月1日
- (3) 定員 15名
- (4) 主たる対象者 特定なし
- (5) 支援種目 生産活動（リサイクル）・運動、健康・創作活動
学習活動
- (6) 職員の配置状況

職種	員数	常勤		非常勤		常勤換算後の員数
		専従	兼務	専従	兼務	
施設長兼サービス管理責任者	1	1				1
生活支援員	3	3				3
看護師	1			1		0.4
合計	5	4		1		4.4

3. 施設サービスの状況

- (1) 個別支援計画の作成・見直し

アセスメントにより利用者や家族のニーズを把握し、希望する日中活動や生産活動の方向性及び生活支援を含めた個別支援計画を作成し、必要に応じて見

直しを行いながら、個々のニーズや特性に合わせたサービス提供に努めた。

(2) 生活介護プログラムの提供状況

毎月の予定カレンダーに基づき担当職員が各種プログラムの内容を計画、いかに楽しんで取り組んでもらえるか、利用者の反応を確かめながら試行錯誤してきた。

① 生産活動

フレンズ時代からの作業種のうち、障がい重い方でも取り組み、役割を担える作業種であるリサイクル作業を引き継いだ。回収や分別など細かく工程を分けることでやりがいを持って取り組めるよう配慮し、利用者の満足度向上に取り組んだ。

1) 年間事業収入

作業種	収入(円)	前年度対比(%)
リサイクル作業	2,445,799	85.3

2) 工賃支給状況

令和5年度平均工賃支給額(月額) … 10,094円

② 創作活動

仕事以外の楽しみや趣味を持てることを目的として、季節感のある誰でも取り組みやすい作品などを手掛けてきた。事業所内に飾り付けることで明るい雰囲気作りにも貢献している。また、様々な創作活動を実施する中で、少しずつではあるが自分のやりたいことの希望も出始めている。

③ 学習活動

広い意味での学習支援として企画し、生活の上で役立つことを目的に実施してきた。映像を使って火災や地震の際の対応への学びや、クイズ形式で物語や言葉を学ぶ学習等、利用者が楽しみながら自然に学ぶことができる機会を提供した。

④ 運動支援

保護者から特に要望が多く、生産活動に次いで多くの時間を運動プログラムとして実施してきた。利用者が楽しみながら体を動かし、健康増進につなげることができるよう様々なメニューに取り組んできた(ウォーキング、ポッチャ・フライングディスク・スカットボール等のニュースポーツ、座位による健康体操等)。

また、活動に対するモチベーションを高めるため、特にゲーム性のあるプログラムでは表彰状を授与する等の工夫も行った。

⑤ 外出支援（ドライブ）

出かけることが好きな利用者が多く、月に1回のドライブを基本に外出を楽しむことができた。また、外出先は大きな公園や海が多く、散策等で体を動かす機会ともなっている。

⑥ その他（レクリエーション・コミュニケーション）

出かけること以外に多くの利用者が好きなものとして映像鑑賞がある。映画やドラマ、過去のアニメ作品等、ある程度の空き時間があれば利用者のリクエストにこたえる形で提供してきた。

(3) 健康・衛生管理

毎日の検温や看護師による血圧測定、月の初日の体重測定等利用者個々の健康状態を把握するとともに年1回の健康診断、感染症対策のため希望者へのインフルエンザ予防接種、及びコロナワクチン集団接種の支援も実施した。

- ① 利用者健康診断～5月26日～6月2日（早川医院）
- ② インフルエンザ予防接種～11月15日（スマイルセンター）12名
- ③ 新型コロナワクチン集団接種（第6回）～6月9日（スマイルセンター）10名
- ④ 新型コロナワクチン集団接種（第7回）～11月2日（スマイルセンター）8名

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、様々な対策の再考が求められたところであるが、福祉施設として必要な予防対策を基本的には継続していくことを確認、実施した。

- ① 利用者、職員、来訪者の検温、体調確認
- ② テーブルやドアノブ、公用車等の定時消毒の徹底
- ③ 手洗い、うがいの支援、三密の回避

(4) 相談・コミュニケーション支援

利用者の話に耳を傾け傾聴すること、職員の都合で対応を誤魔化さず利用者が会話を楽しめる雰囲気や機会を作ることが事業開始以来最も重要視してきた。このことは目に見える成果ではないかもしれないが、利用者の精神的な安定や通所する楽しみにつながっていると思われる。

また、希望があれば個別面談を実施し、じっくり時間をかけて利用者の悩み事相談等の傾聴や、求められればアドバイスも行った。

(5) 送迎サービス

送迎対応可能地域に居住しており、自主通所が難しい利用者を対象に、送迎サービス（無料）を実施した。利用者13名

(6) 安全対策

非常災害時に利用者の安全確保を図るため定期的に消防設備点検を行うほか、消防計画に基づき消防署立会いによる防災訓練（年1回 6月）、自主避難訓練（年1回 10月）を実施した。

また、月の初日に施設設備・環境の安全点検の実施、及び積極的なヒヤリハットの収集から利用者の安全確保に努めた。

更に令和6年度より義務化となる業務継続計画(BCP)の策定に取り組んだ。

(7) 地域福祉の推進

関係市町、基幹相談支援や各相談支援事業所、地域の他法人事業所や各種団体との繋がりを密にし、一事業所だけでは解決できない複雑な課題に取り組むことで相馬地域の障がい福祉力向上に努めてきた。

具体的には「相馬市・新地町地域自立支援協議会」運営委員会や各部会への参加、また、本年度は障がい福祉計画策定年度にあたり、相馬市、新地町の各第7次障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画の策定へ参画した。

法人の垣根を超えた利用者支援としては、当事業所を含めた複数の福祉サービスを利用する障がい者に対する課題解決のため、各種相談支援、グループホーム、入所施設等の関係者によるケース検討会議を継続的に開催、利用者の地域生活支援に努めた。

4. 利用者の状況（令和6年3月31日現座）

(1) 月別在籍利用者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男性	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	64	5.3
女性	5	7	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	102	8.5
合計	11	13	15	15	14	14	14	14	14	14	14	14	166	13.8

(2) 障がい別利用者状況

(単位：人)

	知的障害		身体障害	精神障害	合計
	A判定	B判定	1級	2級	
男性	2	3	0	0	5
女性	4	4	0	1	9
小計	6	7	0	1	14

(3) 障害支援区分別利用者状況

(単位：人)

区分2以下	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
1	6	5	2	0	14

(4) 年齢別利用者状況

(単位：人)

	～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60歳 ～	計	平均 年齢
利用者数	0	1	7	3	1	2	14	42.3歳

(5) 出身市町村別利用者状況

(単位：人)

	相馬市	南相馬市	新地町	その他	計
利用者数	12	1	0	1	14

5. 施設利用状況

月別 区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
開所日数 (日)	20	21	22	22	22	21	22	21	21	20	20	21	253
延べ利用者 数(人)	187	229	253	258	241	236	251	243	235	206	213	215	2767
1日平均利用 者数(人)	9.4	10.9	11.5	11.7	11.0	11.2	11.4	11.6	11.2	10.3	10.7	10.2	10.9
利用率(%)	85.0	83.9	76.7	78.2	78.2	80.3	81.5	82.7	79.9	73.6	76.1	73.1	78.9

6. 主要行事

(1) 社会体験（スマイルセンターと合同実施）

① 日時

令和5年7月8日（土）8：00～15：45

② 実施場所

仙台方面（仙台市天文台～昼食：錦ヶ丘ヒルサイドモール～買い物：秋保ヴィレッジ）

③ 参加者

利用者～12名 職員～5名

④ 成果・反省

- ・成果～数年ぶりの外出行事ということもあり、利用者全員が楽しみにしていた中で実施、天候には恵まれなかったが利用者満足度は非常に高かった。

- ・反省～スマイルセンター、スマイルエールそれぞれに合った社会体験の企画と、日程をずらすことでお互いの行事への職員ヘルプが可能。利用者の希望の取入れ方等。

(2) 芋煮会

① 日時

令和5年11月23日(木) 9:00～14:00

② 実施場所

スマイルエール

③ 参加者

利用者～10名 職員～5名

④ 成果・反省

- ・成果～エールとして取り組む初の芋煮会ということで、とても楽しみにされる利用者が多かった。当日も調理を手伝ったり紅葉を楽しんだり季節行事を満喫できた。
- ・反省～11月後半の実施となり寒さも懸念されたため事業所内での実施となった。来年は時期を早め、キャンプ場など屋外で開催したい。

(3) クリスマス会 (スマイルセンターと合同開催)

① 日時

令和5年12月13日(水) 12:30～14:30

② 実施場所

音谷ホール

③ 参加者

利用者～14名 職員～5名

④ 成果・反省

- ・成果～新型コロナウイルス感染症流行依頼3年ぶりに会場を借り、スマイルセンターと合同で実施できたことで利用者の満足度も非常に高かった。実際とても楽しく盛り上がったイベントとなった。
- ・反省～特になし

7. 職員の資質向上

本年度は虐待防止等の取り組みを特に強化することを目標に外部、内部研修を充実させてきた。

また、スマイルエールでは強度行動障害をはじめとする円滑なコミュニケーション

ヨンが難しい利用者、高齢や健康に不安を抱える利用者等、対応に専門性が求められる場面が多くなっている。外部研修への積極的な参加と伝達研修を含めた内部研修、ケース会議等を定期的で開催しながら職員の資質向上に努めてきた。

その他、地域福祉の向上に努める観点から地域自立支援協議会をはじめとする各種団体や政策部会に積極的に参画してきた。

(1) 外部研修会、各種会議等への参加状況

開催月日	研修・会議名	場所	参加者
5月22日	福島県精神保健福祉協会 特別講演会	原町生涯学習センター	施設長
6月13日	相馬支援学校後援会総会	だんまや水産	施設長
7月7日	第1回相馬市・新地町地域自立支援協議会	相馬市役所	施設長
8月4日	福島県知的障害者福祉協会 日中支援部会職員研修	オンライン研修	齋藤生活支援員
8月4日	相馬市・新地町地域自立支援協議会 地域包括ケア部会	はまなす館	施設長
8月24日	安全運転管理者等講習	鹿島農村環境改善センター	齋藤生活支援員
9月20日	県社協障害福祉職員研修 権利擁護・虐待防止研修	オンライン研修	飯土井生活支援員
10月4日	国立のぞみの園セミナー 日中活動支援のあり方	オンライン研修	齋藤生活支援員
10月18日	社会福祉法人におけるハラスメント対策研修	オンライン研修	施設長
10月19日	障がい者の権利擁護と虐待防止研修会	かしま交流センター	渡辺生活支援員
10月24日	相馬市・新地町地域自立支援協議会 福祉計画策定委員会	相馬市役所	施設長
12月8日	相馬市・新地町地域自立支援協議会 地域包括ケア部会	はまなす館	施設長

12月15日	苦情解決責任者研修	郡山ユラックス 熱海	施設長
1月9日	相馬市・新地町地域自立 支援協議会 福祉計画策 定委員会	相馬市役所	施設長
1月12日	相馬市・新地町自立支援 協議会 権利擁護部会研 修会	はまなす館	施設長
1月23日	相馬市防災会議	相馬市役所	施設長
2月9日	相馬市・新地町自立支援 協議会 地域包括ケア部 会研修会	はまなす館	施設長
2月15日	相馬市・新地町地域自立 支援協議会 運営委員会	相馬市役所	施設長
2月17日	「障がい者と性」講演会	はまなす館	齊藤生活支援員 渡辺生活支援員 飯土井生活支援 員 施設長
2月20日	第2回相馬市・新地町地 域自立支援協議会	相馬市役所	施設長
2月21日	福島県虐待防止研修	コミュタン福島	施設長
2月29日	相双保健福祉圏域連絡会	環境放射線セン ター	施設長

8. 地域交流

(1) ボランティア受け入れ

- ① レクリエーション 2名 (実数1名)
- ② 生け花 6名 (実数1名)
- ③ 環境整備等 2名 (実数1人)
- ④ 作業支援 3名 (実数3名)

9. 参観見学及び体験利用等受け入れ

(1) 参観見学

見学者延べ人数～108名

(内、相馬支援学校父母と教師の会視察25名、同中学部体験見学会29名を含む)

(2) 体験利用

1名 5月29日～6月2日

10. 実習生の受け入れ

相馬支援学校高等部産業現場等における実習

- | | | | | |
|------------------|----|-----|---------|--------|
| (1) 前期実習 (高等部3年) | 1名 | 1週間 | 6月 5日～ | 6月 9日 |
| (2) 後期実習 (高等部2年) | 1名 | 1週間 | 11月 6日～ | 11月10日 |
| (高等部3年) | 1名 | 2週間 | 11月13日～ | 11月24日 |